

【地域活動ノート】

## 第15回薬局管理栄養士研究会の活動報告

——新しい生活様式の中で薬局管理栄養士に求められていること・できること——

内山 貴雄\*・小口 淳美\*・藤田 智子\*・川戸 麻紀\*・奥寄 沙恵\*・宮代 由佳\*  
堀 由美子\*\*・君羅 好史\*\*\*・松本 明世\*\*\*\*・内田 博之\*\*\*\*・清水 純\*\*\*\*・真野 博\*\*\*\*

### 活動の概要

「薬局管理栄養士研究会」は、セルフメディケーションの最前線である保険薬局やドラッグストアに勤務する管理栄養士・栄養士が、情報交換と相互の連携を図ることを目的とし、城西大学薬学部医療栄養学科および城西大学薬学協会の後援により2006年に発足した。城西大学・城西国際大学東京紀尾井町キャンパスに於いて毎年1回の開催を通例とし、2020年には15回目を迎えた。第15回薬局管理栄養士研究会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、集合型開催を見送り、城西大学坂戸キャンパスを配信会場としてオンライン（Zoom）にて開催したので報告する。

キーワード：薬局管理栄養士研究会、管理栄養士、保険薬局、ドラッグストア

第15回薬局管理栄養士研究会は、2020年11月21日（土）14時～17時、「新しい生活様式の中で薬局管理栄養士に求められていること・できること」を開催テーマとし、情報発信、口頭発表およびグループディスカッションをオンラインで開催した。初めてのオンライン研究会となったが、全国から179名（企業94社、大学5校）の参加者が集まり、盛会のうちに終えることができた。

プログラムは、本研究会会長 小口淳美氏（株式会社フォーラル）より、コロナ禍での薬局管理栄養士の活動の現状やその成果報告などを含めた開会挨拶に始まり、新しい生活様式の中で薬局に所属する管理栄養士への情報共有として、本研究会世話人 藤田智子氏より、新しい生活様式の中で薬局・ドラッグストアが行う取り組みの現状と課題が発表された。口頭発表（7題）では、それぞれの薬局・ドラッグストアで行われた事業や取り組みが報告され、続いて行われたグループディスカッションでも、口頭発表の内容をテーマに加え、活発な意見交換が行われた。

第15回は、オンラインという初めての環境下であったが、全国各地から薬局管理栄養士・関係者にご参加とご協力をいただき、実施することができた。今後も薬局・ドラッグストアで活躍する管理栄養士を中心に、薬剤師や関連職種、薬局管理栄養士を目指す学生など、様々な方との情報交換や情報収集、互いの交流の場として、活発な研究会になることを願っている。

第15回薬局管理栄養士研究会の情報発信・口頭発表の内容、アンケート結果は以下のとおりである。

- 
- \* 薬局管理栄養士研究会世話人
  - \*\* 城西大学薬学部医療栄養学科准教授
  - \*\*\* 城西大学薬学部医療栄養学科助教
  - \*\*\*\* 城西大学薬学部医療栄養学科教授

<情報発信>

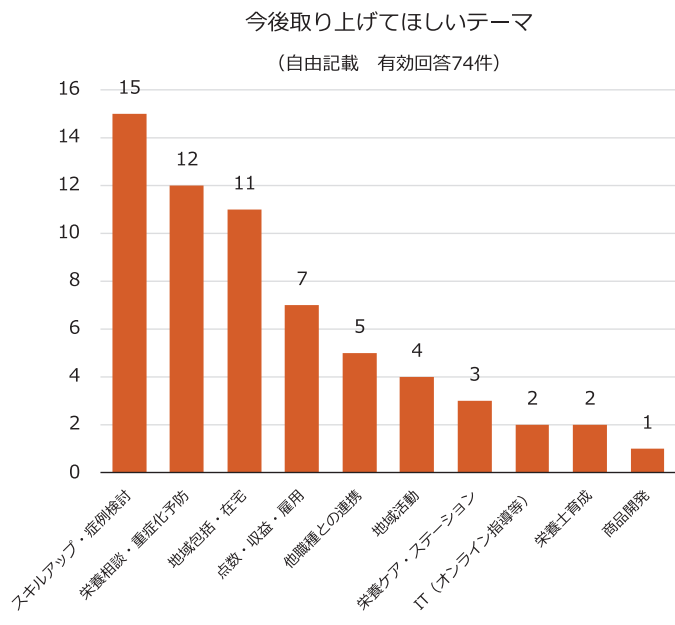
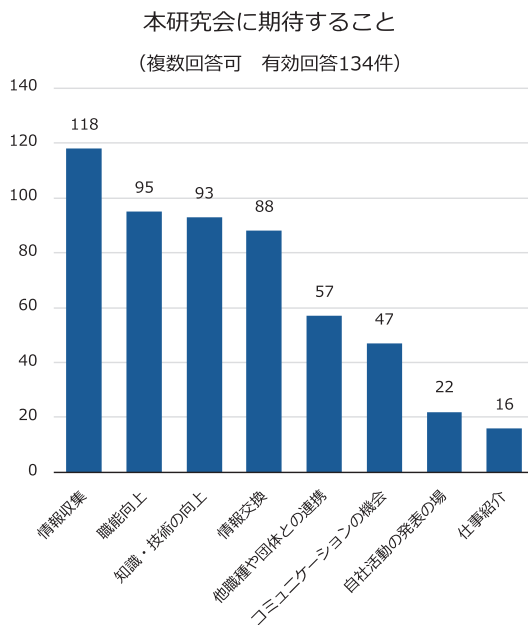
コロナ禍で薬局・ドラッグストアが行う取り組み；株式会社メディカルシステムネットワーク 薬局事業本部 地域薬局事業部 地域薬局事業セクション 藤田智子氏

<口頭発表>

- 演題1 地域の方々に寄り添ったフォーラルの活動；株式会社フォーラル
- 演題2 コロナ禍で問われる薬局管理栄養士の真価；株式会社新生堂薬局
- 演題3 患者さんの疑問に答えるために、薬局管理栄養士が行うこととは；(株) 大島薬局
- 演題4 オンラインツールを活用した薬局管理栄養士の取り組み；(有) サンコーファーマシー
- 演題5 薬局栄養相談の需要アンケート結果と、薬局で実施された栄養相談の集計との比較；(有) サンコーファーマシー
- 演題6 薬局での栄養相談；かんまき薬局グループABC薬局 水無瀬店
- 演題7 みらい栄養士SAIプロジェクトにおけるAIHS®開発の取り組み；城西大・医栄・医療栄養学教育推進室、城西大・医栄・薬食相互解析学研究室、城西大・医栄・臨床栄養学研究室、城西大・医栄・薬物療法学研究室、城西大・医栄・生体防御学研究室、ジャパンモード株式会社、ミツイワ株式会社、城西大・医栄・食品機能学研究室

<アンケート結果（一部抜粋）>

参加者が興味関心のあるテーマは、情報収集、スキルアップ、症例検討であったが、実施回によって変動がみられる。今回は、コロナ禍での開催であったため、情報収集への関心が高かったものと推察される。なお、本アンケート調査は、城西大学「人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」の承認を受けて実施した（承認番号：人医倫-2019-08A）。



薬局管理栄養士がここ数年で急速に増加する中で、受け入れる企業側の環境整備が追いついておらず、現場で働く管理栄養士の経験値も浅いため、本研究会のような情報収集できる環境は貴重な場となる。引き続き、アンケート調査による参加者の意見や希望を収集し、必要とされる情報発信に努めていく。